

篠崎氏が決算書分析のポイント等を詳説

日本財務力支援協会 また、保険業界での関連

(ブランド名:財務の窓) った財務の認識、①利益

口、篠崎啓嗣代表理事) の繰延べは財務対策であ

は、6月7日午後2時半 から午後5時半まで、大

大阪市淀川区のCIVIL新 粧をしているにもかかわ

大阪研修センターで、保 らず決算書の精査をせず

険営業。パーソン向け定例 に財務分析をしている③

研修会を開催した。 事業保障の必要保障金額

同協会は、篠崎氏(株) の計算において経済的合

しのさき総研代表取締 理性がない。未来におけ

役が、決算書を預から る経営の見地から必要保

ずに法人保険の提案を行 障金額を算出するべき

っている保険営業。パーソ 業パーソンのあるべき

いる。

今回の研修では講師の

篠崎氏が考案した「法人

財務すっきりのシート」を

用いて、33の質問により

決算書入手と保険証券入

手を容易にする手法、生

保の必要保障額に経済的

合理性を持たせるための

「全体像」「財務

戦略」「財務戦術」「経

常運転資金」「法人融資

借換」の5枚からなる。

「長期・短期融資合計」

「純資産の部合計」に着

目してその企業がどのよ

うにお金を回してきたか

を把握する「財務戦略」、

また「現預金(合計)」

「保険積立金」「借入金

味がありどのような意

味があるのか一つひとつ

に注目してそれぞれの目

の等から財務的なアド

バイスを行う「財務戦

術」のそれぞれのシー

トにより会社のお金の

流れ、癖を可視化でき

るのが大きな特徴の一

つとなっている。

篠崎氏は、生保提案

を念頭に置いた決算書

分析では、売上を12で

割った「月商」、フリ

ーキャッシュフロー

(翌年以降に自由に使

うことができる税引き後

のお金を必ず把握すべ

きと力説したうえで、融

資を受けている銀行の定

期預金の有無、貯蓄性生

保の年換算保険料、保険

積立金の質権状況の有

無、銀行融資の返済日と

営業パーソン向けの研修

会を開催する。

▽日本財務力支援協会H

P(問い合わせ先)

http://zaimu-mado.com



研修会の様子

寧に解説した。

また、「中小企業の経

営者と株価対策に加えて

連帯保証対策の話ができ

れば信頼度が大幅に増

す」「決算書で過去を10

年振り返れば問題点が見

えてくるが、10年先を思

い描いた際の課題も過去

の問題点から見えてく

る。その視点、思考を養

うべき」「簿記はその勘

定科目に連関する相手方

の科目(現金なら売却、

借入、在庫、固定資産な

ど)をイメージするのが

ポイントとなる」といっ

た役立つ情報、ヒントを

惜しみなく提供した。

同協会では今後も保険

篠崎氏

016年秋に発

足。翌年から東京

大阪、福岡で定例

研修会を実施して